

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174600551		
法人名	株式会社 しらかば		
事業所名	グループホーム たんぽぽ(あい)		
所在地	帯広市東5条南14丁目1番地1		
自己評価作成日	平成27年9月30日	評価結果市町村受理日	平成27年11月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL [http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_2015\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=0174600551-00&PrefCd=01&VersionCd=022](http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=0174600551-00&PrefCd=01&VersionCd=022)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成27年11月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様が慣れ親しんだ地域で安心して暮らせるグループホームを目指しています。</li> <li>・利用者様ご家族の笑顔を大切にしています。</li> <li>・その人らしく生きられますように</li> <li>・いつも笑顔で過ごせる様に</li> <li>・その人の心の声に気付けるように支援していきます。</li> <li>・スタッフ全員で見守る姿勢チームワークを大切にしています。</li> <li>・秋には、利用者様と農家へ行き、大根を掘り、漬物を漬けています。</li> </ul>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p><b>&lt;戸外に出かける支援&gt;</b> 入居年数が永くなるにつれ身体機能が低下しつつあるが、中札内の農園まで出かけて大根を収穫したり、春にはお花見や秋の紅葉見物、買い物ツアーや動物園見物など季節毎に戸外へ出かけられるように支援している。また、地域の保育園園児との交流や町内会の夏祭り参加で地域の人々との交流に努めている。</p> <p><b>&lt;役割、楽しみごとへの支援&gt;</b> 一人ひとりの生活歴や力を活かしながら収穫した野菜の漬物やたくあん作り、職員と一緒に食事の準備や調理、ひな祭りやクリスマス会、敬老会の開催等で楽しみごとや気分転換等の支援をしている。また、独自の利用者・家族アンケートを実施して、苦情や要望等を言い表す機会を設け、そこの意見を運営に反映できるように委員会を設置して改善に取り組んでいる。</p>
--

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目	取組の成果				項目	取組の成果							
	↓該当するものに○印					↓該当するものに○印							
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の	2 利用者の2/3くらい	3 利用者の1/3くらい	4 ほとんどつかんでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と	2 家族の2/3くらい	3 家族の1/3くらい	4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある	2 数日に1回程度ある	3 たまにある	4 ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように	2 数日に1回程度	3 たまに	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が	2 利用者の2/3くらい	3 利用者の1/3くらい	4 ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている	2 少しずつ増えている	3 あまり増えていない	4 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が	2 利用者の2/3くらい	3 利用者の1/3くらい	4 ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が	2 職員の2/3くらい	3 職員の1/3くらい	4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が	2 利用者の2/3くらい	3 利用者の1/3くらい	4 ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が	2 利用者の2/3くらい	3 利用者の1/3くらい	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が	2 利用者の2/3くらい	3 利用者の1/3くらい	4 ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が	2 家族等の2/3くらい	3 家族等の1/3くらい	4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が	2 利用者の2/3くらい	3 利用者の1/3くらい	4 ほとんどいない							

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所及びリビングに掲示して、朝礼で唱和しながら全職員が共有して、日々の介護の実践に繋げるように、努めています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所の理念を見易い場所に掲示すると共に、朝礼で唱和して職員間で共有し、その実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会のお祭りや清掃など行事に参加したり、保育所の行事見学や園児のホーム訪問など交流しています。	町内会の清掃活動への参加や夏祭り見物、近隣の保育園園児の慰問を受けるなど継続的に交流に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事に参加する事で、認知症を患っていても、誰かの支援がある事により、普通に生活できる事を地域の方々に、理解して頂ける様発信しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月ごとに、運営推進会議を開催し、利用者家族、町内会役員、地域包括センターの方に参加して頂き、状況報告や話し合いを行いサービスに活かしています。	2ヶ月毎に運営推進会議を開催して緊急時の避難訓練の実際や事業所の取り組み状況等を意見交換しながら、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者と、日頃から連絡を取り、事業所の実情を伝えたり、利用者個人の相談をして、協力を仰いでいます。	市担当者及び包括支援センターとは、事業所の実情や取り組みを報告しながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会や研修に参加したり、委員会を開催し、理解を深めています。その時々で、玄関の施錠はせず、常に見守りし、安全に取り組んでいます。	身体拘束廃止委員会を設けて内部研修会を開催して、指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や研修会などに参加したり、委員会や職員会議などで情報を共有し、注意を払い防止に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、成年後見制度を活用される状態の方は少ないが、いつでも支援できる様、職員は勉強会や研修へ参加しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結には十分な説明を行い、理解して頂く様努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内に意見箱を設置したり、ご家族参加の行事を設け、交流時に意見や要望を頂き、反映できる様、努めています。	家族が参加する行事を設けたり、意見箱を設置して意見や苦情等を言い表せる機会を設け、そこでの意見等を運営に反映できるよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の職員会議や、ミーティング時に意見を聞く機会を設け、反映させるよう努めています。	職員会議や日常業務を通じて職員の意見や要望を聞く機会を設け、そこでの意見を運営に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間、給与水準や資格手当等の整備を行い、勤続表彰も実施しています。各委員会等役割を持つことによりやりがい等、持てるよう努めています。また、人事考課を導入し、向上心、目標を持って頂ける様働きかけています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修をはじめ、社内研修、社外研修への参加を働きかけているが、十分とはいえません。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	同業者との交流はほとんどなく、情報も充分とはいえません。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談を行い、本人から話を聞く機会を設け、入居後も職員間で情報を共有し、安心して頂ける為の関係づくりに、努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始時は、ご家族と話をする機会を作り、面会時にも状況報告し、困っている事や不安な事を聞ける様、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の身体状況や精神状況、家族の思いを把握し、その時に必要な支援を見極め、必要としているサービスが出来る様に、努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者本位に考え、コミュニケーションを多くとる事により、一方的に物事を決定しない様、努めています。料理の盛り付けや配膳、掃除なども一緒に行う事により、共に暮らす関係を築いています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族参加の行事を設け、絆を大切にしています。日々の様子を伝えながら、職員、家族が共に支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者本人の友人や知人が、気軽に訪問できる雰囲気作りに努めています。	散歩や近隣のスーパーでの買い物、町内会の清掃事業や夏祭り参加、お花見や紅葉見物等で馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が、共通の話題を提供したり、レクリエーションを通して、一人ひとり孤立しない様支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	何時でも、気軽に遊びに来て頂ける様働きかけています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや希望を組みとる様努め、職員間で情報を共有し、希望に添えるよう、取り組んでいます。	アセスメントを実施して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、職員間で共有し、本人本位に検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴やサービス計画書等、いつでも閲覧できる場所に保管し、これまでの暮らしの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりにより、一人ひとりの現状を職員間で共有し、現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や日々のミーティングなどでケアの方法について話し合い、意見やアイデアの反映に努め、現状に即した介護計画を作成しています。	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人・家族の意見要望、カンファレンスやモニタリングを通じて、職員の意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。また、状態変化時には適時見直しを実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や日常会話など、生活記録に記載し、ミーティング時に話し合い、情報を共有しながら、介護計画の見直しにいかしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じ、その都度柔軟に対応するよう、努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事への参加や買い物、散歩等を通し、本人の持っている能力を活かして行けるよう、支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望に沿った、医療機関の受診をして頂いています。	受診は、本人及び家族等の納得が得られたかかかりつけ医となっている。また、往診や日常の健康管理で適切な医療を受けられるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	その都度状況報告や、相談、指示を仰ぎ、適切な対応や看護を受けられるよう、支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の状況等、看護師、家族から情報を頂き、早期退院に向け、話し合いを行なっています。また、退院後のケアに繋げていける様、相談や情報も頂いています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	ご家族から重度化した際の意向確認を行なっています。ホームでできる事、出来ない事を話し合う機会を設けて、医療機関との連携を図り、方針を共有確認しています。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、研修会などへの参加で、実践力を身に付ける様、努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施し、利用者の避難誘導がスムーズに出来る様訓練しています。また、近所の他ホームとの協力できる体制を築いています。	消防署の協力のもと昼夜を想定した火災避難訓練を実施している。また、緊急時に速やかに対応できるように普通救急救命訓練も受講している。	

#### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、トイレ誘導や入浴介助など、声掛けを工夫し、プライバシーを損ねない対応に努めています。	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる言葉かけが無いように年間計画に基づいて法人内研修を実施している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を取り入れ、散歩や買い物など支援しています。衣類など、自己決定出来る様、支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	一人ひとりのペースを大切に、出来る限り本人の希望に沿った支援が出来る様努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月一回の出張サービスを利用したり、希望する美容室へいける様、支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に盛り付け、配膳や後片づけをしています。月一回の自由献立では、利用者の好みや、季節の食材を取り入れた献立を立て、楽しむことが出来る様支援しています。	一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に食事の準備や調理等をしている。また、レストランの外食にも出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士管理のもと、カロリー計算をしています。食事量、水分量はチェック表にて把握し、一人ひとりの状態に応じた支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの声掛けや、見守り、介助を行なっています。また就寝前に義歯を洗浄液へつけ、清潔保持をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の様子を見ながら、排泄パターンを把握し、誘導や声掛けに配慮し、トイレで排泄できる様支援しています。夜間帯も時間を見ながら声掛けし、自立した排泄が出来る様、努めています。	一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を把握して声かけ、誘導等でトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養士管理のもと、食物繊維を取り入れた食事を提供し、運動や水分を多くとる様、配慮しながら、予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に沿った支援をしている	基本は、ホームで決めた日の入浴であるが、本人の希望や状況に合わせて時間帯を調整したり、本人が入りたくない時は、次の日に入浴して頂き、個々の希望に沿った支援が出来る様努めています。	本人のその日の希望に沿って、週2回を目安に入浴支援をしている。また、特殊浴槽を導入して入浴時の職員の負担軽減や安心して入浴ができるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中帯は、レクリエーションや運動等活動的に過ごして頂き、夜は安眠できる様、音や明りに注意し、気持ちよく眠れるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	確実に服用して頂ける様に、職員が服用確認し、一人ひとりがどのような薬を服用しているか、把握に努め、服薬の変更時には、特に症状の変化や悪化などに注意し、医師に報告するよう、支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の役割を考え、洗濯物干しやたたみ、食事の盛り付けや後片付け等の手伝いをして頂いたり、行事などを計画し、楽しみや気分転換が出来る様支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	十分とは言えないが家族と外出したり全員参加できる様な行事計画や、地域の方々の支援もあって、町内会行事にも参加しています。	中札内の農園まで出かけて大根を収穫したり、春にはお花見や秋の紅葉見物、買い物ツアーや動物園見物など季節毎に戸外へ出かけられるように支援している。また、地域の保育園園児との交流や町内会の夏祭りに参加している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人管理されている方は、職員付添いで買い物へ行き、ご自分で支払い出来る様見守り等しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に電話を掛けれるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月職員と一緒に季節に合ったものを製作し、ホーム内に飾り、居心地良く過ごせる様配慮しています。また、温度調整、湿度調整も都度行っています。	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、ホーム内には行事参加の写真が飾られていたり、季節に合わせた飾りつけなどで生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせる空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファで気の合った人たちでお話されたり、トランプなどしたり、独りになりたい時は、居室で過ごされたりと、自由にされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人、家族が配置し、使い慣れた物や好みの物を持参されています。本人が居心地良く過ごせる様支援しています。	居室には、安全に配慮しながら使い慣れた家具や寝具などが持ち込まれたり、家族の写真が飾られるなど本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱や失敗しやすい表示については、分かり易く表示するなど配慮しています。手すりやエレベーターを使う事により、安全に移動でき、統一した介助、見守りをする事で自立した生活が送れるよう支援しています。		



自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174600551		
法人名	株式会社しらかば		
事業所名	グループホームたんぼぼ(ゆめ)		
所在地	帯広市東5条南14丁目1-1		
自己評価作成日	平成27年9月30日	評価結果市町村受理日	平成27年11月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL [http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_2015\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=0174600551-00&PrefCd=01&VersionCd=022](http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=0174600551-00&PrefCd=01&VersionCd=022)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成27年11月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が慣れ親しんだ地域で安心して暮らせるグループホームを目指しています。</li> <li>・利用者様ご家族の笑顔を大切にしています。</li> <li>・その人らしく生きられますように</li> <li>・いつも笑顔で過ごせるように</li> <li>・その人の心の声に気付けるように支援していきます。</li> <li>スタッフ全員で見守る姿勢チームワークを大切にしています。</li> </ul>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫(評価機関記入)】

--

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどつかんでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない				

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	あい・ゆめのホールに施設事業所の理念を掲示しており、毎朝、朝礼の際「理念」を声に出し日々の実践に繋げています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年、町内会の行事「夏祭り」「秋祭り」「清掃」、毎月子供会の「廃品回収」等、職員と共に利用者の方と参加交流しています。近くの保育所や幼稚園の子供達との交流の期会があります。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者の方全員は無理ですが、町内会の行事に参加する事により、認知症の方でも誰かの支えがある事により普通に生活出来ている事を理解して頂ける様に努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では施設での取り組み、活動報告を行い意見を頂き事業所でのサービス向上に活かしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進以外の関わりはあまり無く、市の担当者に実情を伝えたり、利用者の事で相談をし協力を仰いでいます。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員はグループホームにおける禁止行為について、ある程度理解出来ています。「玄関の施錠」について施設自体、二階にあるため階段からの事故防止の為に扉を開くとブザーが鳴る様に対処しています。転倒しやすい利用者の方に対し、家族の方の同意書を作成「センサー」を使用し夜間と居室内での転倒事故予防の為に努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社外・社内研修に参加し身体拘束・虐待防止について勉強の期会を作っています。身体拘束委員会を中心に「施設目標を」上げ職員の意識づけを行っています。事業所内のアンケートを作り、職員一人一人が、意識し防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在成年後見制度を利用されている方は居ませんが、社内研修、社外講演の成年後見制度の勉強会に参加しており、いつでも相談支援できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約については直接関わるのが余りないですが、いつでも重要事項説明書を読覧できるようにしており、ある程度説明出来る様になっています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を玄関に設置し、苦情委員会での年2回の家族へのアンケートをとりまとめ、家族の意見要望に対し、今後の運営に反映できるようにしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や毎日のミーティングの時などに意見が出るように機会を持っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間、給与水準や資格手当の整備、勤務表彰が実地されています。各委員会での役割がある事により向上心、目標を持って働きかけを行なっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修をはじめ中途採用者研修、社内研修は行なわれているが、外部研修への働きかけをしているが、日々の仕事に追われて充分とはいえません。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	社内間の行き来はありますが、他施設の同業者との交流はほとんど無く情報も充分とは言えません。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の要望、思いを傾聴しサービスに組み入れ、精神的にも安心した関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いや、困っている事、不安や要望に傾聴し安心して頂ける様関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の要望、家族の想いを伺い、施設での状況もサービスに組み入れ日々の対応、支援に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者との関わり中で、利用者の能力や出来る事を職員と一緒にいき、お手伝いして頂けたときは、「有難うございます」と感謝の気持ちを表す事により良好な関係を築いています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や必要な時に電話をさせていただき利用者本人の体調や状況、想いなども報告し、家族と共に本人を支えてゆく関係は出来ています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方との交流や本人の要望により外出や買い物等、家族と連絡を取り、支援出来る様にしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	能力の違う利用者同士が、一緒に誘い支え合い、一緒に時間が過ごせるよう配慮支援に努めています。中には「大勢の人の居る所には行きたくない」と言われる方もいますが声掛け、お誘いは必ず行っています。他の方とは別に、個別に関わっています		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設を退所されてからでも、ご家族の相談など受ける時があり協力しています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや要望などすべてではないですが、施設で対応できる事は行える様取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人ファイルに、本人の経歴や趣味など情報を閲覧できるようにしており、ご家族からの情報などでも把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の、その時の心身の状態、体調にもよりますがH日の家事仕事、軽作業の出来る方、自ら率先してお手伝いして下さる時もあるので、支援の機会をその時により見極めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にケア会議を行い、現在の状態を含め検討しモニタリングを行い、ご本人の想い・家族の要望も含め、日々の暮らしがより良く支援できる様介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に介護計画内容の記録の他に、日々の変化がある時など記録におとし、ミーティング時に話し合い介護計画に活用できる様に検討しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて家族の代わりに契約以外の病院受診や本人の必要としている買い物などその都度対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会のお祭りや、地域の幼稚園との交流など楽しめるよう、支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診があり、状態によって家族に同席してもらい本人の状況を主治医から説明して頂いており、医療的な面で必要と判断される方は、訪問点滴を行って居ます。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態の変化など看護師に報告し、訪問看護が来る時など常に状態報告を行い指示を受けながら日々のケアに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、安心して治療できる様、介護添書提出し情報を共有できるようにしています。入院中の情報は家族を通じご本人の状態を確認しています、退院後の急変時に備え病院との話し合いも行って居ます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	重度化に向けて施設で出来る事と、出来ない事などご本人の状況を家族に説明を行い理解して頂けるよう努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時・事故発生時のマニュアルはいつでも閲覧できるようにしており、緊急時の手順など電話の前に張り出しています緊急時対応の勉強会は社内研修で行って居ます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練(夜間も含み)・緊急時の連絡網により夜間職員召集の訓練を行って居ます。災害時に避難場所を職員が把握できるようにしています。		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	身体拘束委員会であげた事業所目標「その人の見になって」を掲げ意識づけを行っており、一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮し言葉づかいや態度に注意し対応をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の関わりの中で、ご本人の想いや要望を、自己決定が出来る様努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	なるだけ、本人の要望に沿って差上げたいのですが、出来る時とそうじゃない時があります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の馴染の美容室(家族対応)や、ホームに出張に来て頂いています。衣服を選ぶ際、自分で出来ない方などは、選びやすいように対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普段の食事の準備、盛り付けのお手伝いをお願いしたり、「常にありがとうございます」と感謝し、食事の最中も味の感想を聞いたり楽しみながら食べています。後片付けも自分から率先してお手伝いして下さる方もおり職員と一緒にしています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が毎日の献立、カロリーを考えて下さり、水分量も一度に取れない方もいますので、時間をおいてこまめに提供をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛け、見守り介助を行っています。自立している方もおり自分の習慣づいている時間(就寝時間前)に居室の洗面台で行っている方もいます。義歯が汚れている時など歯磨きの声掛け促しを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を見て声掛け誘導を行っています。日中常などリハビリパンツから、布パンツにパットを使用し、利用者の状態に合わせて負担が少なくなるよう対応しています。夜間ポータブルトイレを使用する方もいる為、配慮しながら一部介助を行っています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく下剤に頼らず水分摂取や食物繊維など取れるよう配慮しており、ヤクルト等飲まれている方もいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に沿った支援をしている	入浴の時には一人ひとり声掛けし、体調や気分にもよりますが、無理強いしないようタイミングを図り、曜日関係なく入浴の支援を行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中帯に一人ひとりの状況に合わせ、なるべく活動量が増えるよう(ふーせんパレーなど)支援し、安心して夜間良眠できるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬は施設管理になっており、一人ひとりの状態の変化に注意し、内服薬開始からの状態観察を行い変化あるときなど主治医へ報告し状態の変化に対応できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの嗜好、レクなど、なるべく意向に添えるようにしています。ホーム内で自分で出来る事など充実した生活が出来よう努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員の人数不足や、安全面を考えると十分には出来ていないが、家族の方と外食や病院受診時など利用者と一緒に行き物をするなど、気分転換が出来る様支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族が了承の上、自分でお金を管理している方もいますが、病院受診の時や、買い物等行事の時に一人ひとりゆっくりと買い物できるように日程の余裕をもって支援させてもらっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたいときなど、なるべく掛けさせて差し上げたいのですが、家族の意向もあり、時間帯を見てなるべく対応できるようにしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室、居間は西日が強い為、室温、湿度日差しに配慮し快適に過ごす事が出来るように努めています。その四季に合わせた、製作を入居者の方と一緒に作成するようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには入居者一人ひとりが、ソファで横になったり、利用者同士が思い思いに過ごせるようにしています。人によっては大勢の人の中は嫌だと言われ、居室で過ごされる方もいます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりの居室は、自分が使用している物や家族がアルバムや本人が使用していた物など持ってこられ、居心地良く過ごしていただける様になっています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫をしている	手摺やエレベータを使用する事により、安全に移動が出来、居室入口にはベンチが設けており休みながら移動したり、自立した生活が送れるようになっていきます。		



## 目標達成計画

事業所名 グループホームたんぽぽ

作成日: 平成 27年 11月 4日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	18	認知症の重度化に伴い、今まで出来ていたことができなくなっている。又、ニーズの把握が難しくなっている。	認知症状が重度になっても、幸せを感じる生活が送られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の生活歴や、様々な体験をしている時の入居者の表情、体験後の様子なども参考に、入居者個人の幸せを考えていく。</li> <li>・身近な小さな幸せを積み重ねていく。</li> </ul>	1年
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。